



子どもたちの絵がつながる  
図書館こどもまつり 5月5日

5月5日の子どもの日に合わせ、市立図書館で「図書館こどもまつり」が開催されました。子どもたちが思い思いに描いた部屋のイラストをつないだイラスト展示や、魚釣り・カーリングなどの手作りゲームなどがあり、多くの家族連れが図書館を楽しんでいました。イラスト展示は、子どもたちが家族、動物、魚がいる部屋を事前に描いたものを持ち寄り95部屋が海の中でつながり大きな家になり来場者を楽しませました。当日、子どもたちが展示されたイラストにイカやタコなどを装飾し、華やかさを加えていました。このほか紙芝居や読み聞かせなども行われ、子どもたちは本を親しんでいました。



展示イラストを飾る参加者

下妻中学校新校舎完成により6月から旧校舎の解体工事が始まることから、旧校舎が一般公開され、卒業生など446人が懐かしい校舎との別れを惜んでいました。一般公開された13日は、卒業生らが次々と訪れ、昭和47年に建築された旧校舎内を歩き、記念写真を撮ったり、在校時の思い出に花を咲かせたりしていました。同級生と参加した谷島邦雄さんは「自分たちがここで最初に学んだ学年だった。みんなで一列に並んでグラウンドの石拾いをした」と当時の思い出を振り返っていました。旧校舎の場所には今年度中にグラウンドが整備される予定です。

446人が思い出の校舎に別れ  
下妻中学校旧校舎一般公開 5月13日



在校時の思い出を振り返る谷島さん(左)



風船で遊ぶ子どもたち

大きな風船を追いかけ、ママも交流  
BIG風船で遊ぼう&母親クラブ説明会 5月14日

子育て支援サークルの下妻母親クラブ(石濱有紗会長)は、Waiwaiドームしもつまで、子どもたちと同じくらいの大きな風船で遊ぶ「BIG風船で遊ぼう」を開催し、就園前の子どもと保護者など約80人が参加しました。カラフルな大型風船がドーム内で風に舞い、追いかける子どもたちの元気な笑い声が響く中、見守る母親同士も笑顔で会話を楽しみ交流を深めていました。この日はクラブの説明会もあり、子育てや日常の悩みを共有し合え、子どもの年齢に合わせた活動も多数あることから、この日入会した母親は「楽しく遊びながら、ママ同士も交流できてうれしい」と話していました。



指導を受けながら丁寧に苗を植えていく児童たち

列に並んで丁寧に田植え  
宗道小学校で田植え体験授業 5月8日

宗道小学校の3～6年生221人が5月8日、同小近くの田んぼで田植えを体験しました。田植え体験は、JA常総ひかり下妻千代川支店や同小PTAが協力して、田植えの方法を指導。曇り空で肌寒さを感じる中、児童たちは横一列に並び、指先でつまんだ苗を丁寧に植えていました。6年の安原ひかるさんからは「田んぼの水が冷たかった。うまく植えることが大変だったが、普段できないいい経験ができた」と米作りの大変さを実感した話が聞けました。9月には収穫祭が計画され、児童たちは自分たちが手掛けたお米が食べられることを楽しみにしていました。

夢をかなえる場所に

春の女子会2018 5月20日

Waiwaiドームしもつまで市民グループのShi♥shimaiが主催する「春の女子会」が開催されました。市内外から訪れた約1,800人の来場者は、女子目線のおしゃれで華やかな空間を楽しみました。会場では、ステージライブやハンドメイドマーケット、フード、国際支援活動の紹介、ベビーマッサージなどのイベントが行われました。代表の鈴木牧さんは「1回目は市と共催だったが、今回は独自で開催でき、出店数も増えた。女性目線でのイベントを皆さんに楽しんでもらいたい。秋にはハロウィンイベントを行いたい」と笑顔でした。また同グループの齋藤直美さんは「前回お客さんとして来ていた方が、今回初出店している。年代の枠を広げ、夢をかなえる場になればいい」と話してくれました。



来場者で賑わう会場



ガールスカウトによる新聞紙で作るスリッパ作成ブース



思い思いの形のせっけんを作る子どもたち



体の使い方を指導する元ロケット投手小林さん

野球の楽しさを伝えようと、日本プロ野球OBクラブ主催の「第24回ダイワハウス全国少年少女野球教室」がWaiwaiドームしもつまで開催され、市内や近隣市町から小学生、指導者など約230人が参加。元大洋の根本学さん(水戸市出身)や東大卒で元ロケット投手の小林至さんなど9人が講師を務めた。OBたちは基本のキャッチボールをした後、投手、捕手、内外野のポジションごとに分かれて子どもたちを指導。子どもたちはプロの技術を学ぼうと真剣に指導を受けていました。上妻ファイターズ監督の山田孔明さんは「プロの指導は参考になった。テレビで見ていたOBが熱心に指導してくれありがたい」と話していました。

プロ野球OBがプロの技術を伝授  
第24回ダイワハウス全国少年少女野球教室 5月13日

4月28日、下妻e-sports実行委員会(内山学委員長)はWaiwaiドームしもつまで、コンピュータゲームを競技として行うeスポーツのオフライン対戦交流会を開催し、対戦型格闘ゲームで16人の参加者が日頃磨いた技で競い合いました。大会はトーナメント方式で行われ、ドーム内の200インチ大型画面にKOシーンが映し出されるたびに会場からは歓声が上がっていました。内山委員長は「初めての企画だったが手応えを感じた。ここをeスポーツの拠点として今後も種目を変えながら続けて秋ごろに大きな大会を開催したい」と話していました。eスポーツは2019茨城国体でも開催されることになり注目の競技となっています。

大画面で格闘ゲーム  
eスポーツ大会 4月28日



白熱した戦いをする参加者たち